

財政開示

学校法人 獨協学園および獨協大学に係わる財政を開示します。
これは、平成17年4月の私立学校法改正に基づいて行うものです。

獨協大学 平成18年度決算と19年度予算

本学の部門収支を、学校法人獨協学園の消費収支計算書より報告します。消費収支計算書は当該年度にかかわる経費に絞って表示するものですが、加えて資産の移動のない各種の引当金等（退職給与引当金繰入額、減価償却額）を計上、当該年度の実勢を示しています。企業会計における損益計算書にほぼ相当します。

【平成18年度決算】

1. 消費収支計算書

<グラフ1> 消費収入の各項目が帰属収入合計に占める割合です。

大学の収入は、学生生徒納付金と、国・地方公共団体等からの補助金で全体の約88.8%を占め、収入の大部分が固定化しているのが学校会計の特殊性です。学生数は、学部生8621名・大学院生66名・法科大学院生140名で8827名（平成18年5月1日現在）でした。

収入の主な内訳は以下のとおり。

授業料 60億円 入学金 6.8億円 施設設備費 14.7億円
手数料 4.8億円 補助金 10.8億円（経常費補助金は8.6億円）

基本金に組入れた29億5135万円の主な内訳は、天野貞祐記念館建物26億8167万円、教育研究用機器備品1億3299万、図書3669万円、第3号基本金（奨学基金）1億円です。

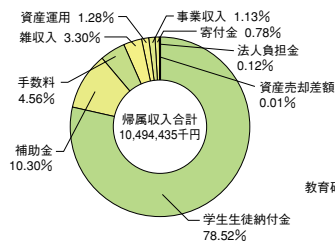
1. 平成18年度消費収支計算書

（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

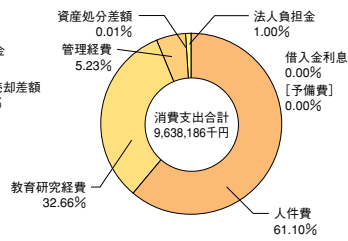
（単位：千円）

支出の部		収入の部	
人件費	5,888,925	学生生徒納付金	8,240,234
教育研究経費	3,147,639	補助金	1,081,191
管理経費	504,634	手数料	478,192
法人負担金	96,004	雑収入	346,137
資産処分差額	984	資産運用	134,647
借入金利息	0	事業収入	118,575
[予備費]	0	寄付金	81,873
		法人負担金	13,016
		資産売却差額	570
消費支出の部合計	9,638,186	帰属収入合計	10,494,435
消費収支差額	△2,095,106	基本金組入額合計	△2,951,355
支出の部合計	7,543,080	消費収入の部合計	7,543,080

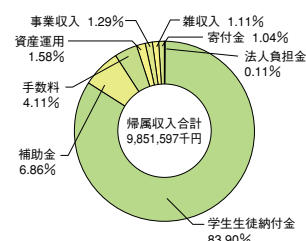
<グラフ1> 収入の部



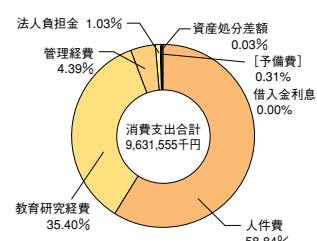
<グラフ2> 支出の部



<グラフ3> 収入の部



<グラフ4> 支出の部



2. 平成19年度消費収支予算書

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：千円）

支出の部		収入の部	
人件費	5,666,912	学生生徒納付金	8,266,010
教育研究経費	3,410,139	補助金	676,300
管理経費	422,884	手数料	404,500
法人負担金	99,120	雑収入	156,055
資産処分差額	2,500	資産運用	127,100
借入金利息	0	事業収入	108,982
[予備費]	30,000	寄付金	102,000
		法人負担金	10,650
消費支出の部合計	9,631,555	帰属収入合計	9,851,597
消費収支差額	△2,818,786	基本金組入額合計	△3,038,828
支出の部合計	6,812,769	消費収入の部合計	6,812,769

主な用語について

- 帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入との意味で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金等は計上されない。
- 学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- 手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- 補助金** 国や地方公共団体等からの補助金収入。
- 雑収入** 退職金財団からの交付金を含む。
- 基本金組入額** 学校会計では、帰属収入からまず学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資産と資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- 消費支出** 当該年度において消費される人件費、経費等と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額が計上される。

- 人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、アルバイト、パートの職員に関わる給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、労働保険などの大学負担分（所定福利費）と、退職給与引当金繰入額の総額。
- 教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験を実施するための経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持するための経費、並びにその施設設備に係る減価償却額が計上される。
- 管理経費** 大学を運営する総務、人事、経理及び対外的な広報活動に要する経費、教育研究に当たらない事業に要する経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持するための経費、並びにそれに係る減価償却額が計上される。
- 消費収支差額** 帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入と、消費支出の合計額の差が消費収支差額である。消費収支差額が支出超過の場合、学校会計では基本金という独自の考え方があり一概に赤字経営と決めつけることはできないが、収支のバランスを欠いているということはいえる。

学校法人獨協学園の 平成18年度決算と19年度予算について

1. 平成18年度事業報告概要と決算

(1) 事業報告概要

獨協学園は、三大学、二中学・高等学校、一専門学校から構成されており、「各学校の自主性、独自性を尊重しつつ、一つの法人として整合性を持って経営する。」との基本的な経営方針の下に運営されています。

学園では、平成10年に基本計画を策定し、以降2年ごとに見直しをしており、平成18年度は第4次見直しとして、平成24年度までの計画を策定しました。今回の見直しにあたっては、基本計画策定委員会の下に財務改革小委員会を設置し、学園の経営方針及び財務方針について検討しました。

基本的な経営方針については、当面変更しないが、学校単位の財務自立の早期達成をより強く打ち出し、各学校及び学園全体の財務の目指す(仮)指標を設定しました。さらに、学園内一校の破綻は、学園全体の破綻につながるリスクとなるとの認識のもとに、学園、各学校が危機意識と情報を共有して、自己責任・自助努力によって経営改善をすすめることとしました。

平成18年度の各学校等の主要事業概要は次のとおりです。

獨協大学は、天野貞祐記念館の建設を進め、総合学術センターと教室・学習環境整備からなる大プロジェクトを完成しました。また、国際教養学部の設置届出を行い、平成19年4月開設しました。

獨協医科大学は、平成18年4月、珪肺労災病院の移譲を受け、「日光医療センター」を開院しました。また、看護学部の設置認可申請と、校舎建設を行い、平成19年4月開設しました。

姫路獨協大学は、平成18年4月に医療保健学部を開設し、次いで、薬学部の設置認可申請と、校舎建設を行い、平成19年4月開設しました。新学部設置に併せ、既存学部の再編について、平成20年4月改組予定で届出を進めています。

獨協中学高等学校、獨協埼玉中学高等学校は、大きな施設・設備等の計画はありませんでした。

学園本部は、平成18年4月内部監査室を設置、内部監査を実施しました。

諸規則整備検討委員会では、学園の会計諸規則を改正し、平成19年4月から施行しました。また、獨協学園120周年記念事業の一つとして進めてきた学園共同施設、獨協学園資料センター(獨協歴史ギャラリー)を獨協大学の天野貞祐記念館一階に開設しました。

(2) 消費収支(表1)

帰属収入は予算750億78百万円に対し、763億24百万円で12億46百万円上回りました。補助金1億31百万円、医療収入4億65百万円の上回りに対し、学生生徒納付金が1億62百万円下回りました。これに対して、消費支出は予算749億54百万円に対し755億81百万円と6億27百万円上回りました。医療経費が10億81百万円の上回りとなりましたが、人件費は7億17百万円の下回りとなりました。

この結果、消費収支差額は予算106億92百万円の支出超過に対し85億43百万円と21億49百万円好転しました。帰属収支差額(基本金組入前収支差額)では1億24百万円に対し、6億18百万円の収入超過となりました。帰属収支差額の帰属収入に対する比率は0.97%で前年度比では△1.15%となりました。

(3) 資金収支(表2)

今年度は、事業概要のところで説明しました獨協大学の天野貞祐記念館の建設、獨協医科大学の看護学部棟の建設、姫路獨協大学薬学部棟の建設など施設設備関係が約124億円と多額の支出がありました。次年度繰越金が前年度に比較して33億円増加していますが、一方で減価償却引当特定預金41億円、学部増設等引当特定預金42億円を取崩しています。

学園全体の金融資産残高は389億33百万円で前年度対比45億9百万円の減少となりました。外部借入金金は43億90百万円で前年度より約6億76百万円減少しました。

2. 平成19年度の事業計画と予算について

(1) 事業計画概要

獨協学園は1881年に創設され、獨協大学、獨協医科大学、姫路獨協大学、獨協中学高等学校、獨協埼玉中学高等学校の三大学、二中学高等学校で構成されています。加えて獨協医科大学は三病院と看護専門学校を有しています。

私立学校を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中であって、時代的、社会的ニーズに応えていくため、大きな組織である学園は、それぞれの学校の自主性を活かしながら、特色ある学校経営を進めています。平成19年度は、前年までの事業取組みの上に、魅力ある学校づくりに向けて、大きな事業として次のことを計画しております。

獨協大学は、国際教養学部の開設、これに続き、20年4月開設の法学部総合政策学科の設置届を行います。獨協医科大学は看護学部の開設、そして、施設面で、大学病院の外来リフォーム工事を進めます。姫路獨協大学は、医療保健学部を続き、19年4月薬学部を開設します。これに次いで、20年4月開設の外国語学部外国語学科の設置届を、既存学部の改革と合わせて行います。

獨協中学高等学校、獨協埼玉中学高等学校は、教育力アップについて、継続して教学改善・改革を進めます。

学園本部は、このような各学校の事業計画を連携して進めていくとともに、新たな資金需要の対応と財務の改善を図るため、学園基本計画の見直しと財務改革を推進していきます。また、学校の社会的説明責任をも履行するため、その一環として、18年4月に設置した内部監査室を含む監査を強化し、業務改善とリスクアプローチを図っていきます。

(2) 消費収支(表4・図表2)

帰属収入は784億59百万円で前年度予算対比33億81百万円増加します。うち、医療収入が41億51百万円の増加、学生生徒納付金は1億81百万円の増加となっています。一方、前年度、日光医療センターの継承に伴う補助金がありましたが、今年度これが減少し、補助金全体で11億55百万円の減少を見込んでいます。

消費支出合計は789億4百万円で前年度予算対比39億50百万円増加します。うち、獨協大学国際教養学部、獨協医科大学看護学部、姫路獨協大学薬学部設置等による人件費が7億80百万円増加、医療収入の増加に伴う医療経費の16億79百万円増加が主な要因です。

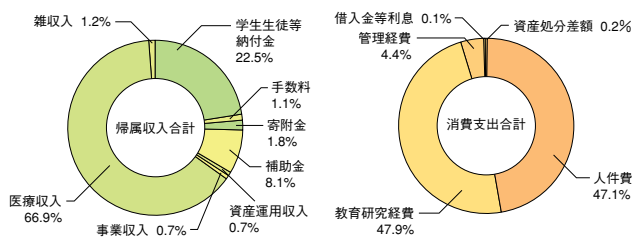
獨協大学天野貞祐記念館建設、獨協医科大学病院外来棟リフォームなど基本金組入額が90億61百万円と前年度に引き続き多額となり、消費収支差額は95億6百万円の支出超過となります。また、帰属収支差額は4億45百万円の支出超過となります。これは三大学の新学部設置に伴う経費および姫路獨協大学の既存学部の改組に伴う臨時的経費などあわせ、支出超過が約18億88百万円見込まれることによっています。しかし、これは学年進行上など経過的な支出超過であり、平成20年度以降は収入超過となる見込みです。

(3) 資金収支(表5)

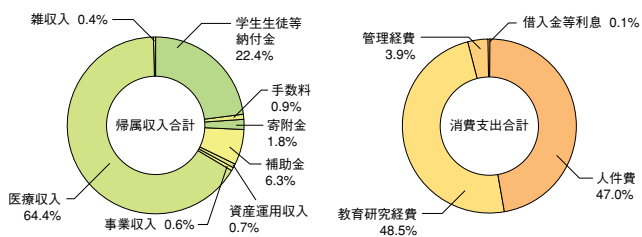
新しく開設する三学部や天野貞祐記念館の建設費支払いなどのため、施設・設備資金支払いは67億79百万円で、前年度の132億40百万円に対し半減したものの依然高水準となっています。また、三大学の平成19年4月設置の新学部については、開設初年度で資金収支上も、支出超過となることから、繰越資金は29億2百万円の減少となります。学部増設等引当特定資産約13億円の取り崩しを含めて、金融資産全体では35億70百万円の減少となる見込みです。

(獨協学園の事業報告書、財務情報の詳細については学園のホームページ <http://www.dac.ac.jp/> をご覧ください。)

平成18年度 消費収支決算 科目別構成 (図表1)



平成19年度 消費収支予算 科目別構成 (図表2)



1. 平成18年度消費収支計算書

(表1)

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
(単位：千円 端数未調整)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
学生生徒等納付金	17,195,460	22.5	人件費	35,586,320	47.1
手数料	803,652	1.1	教育研究経費	36,214,005	47.9
寄附金	1,361,218	1.8	管理経費	3,362,290	4.4
補助金	6,199,117	8.1	借入金等利息	70,439	0.1
資産運用収入	512,798	0.7	資産処分差額	136,548	0.2
資産売却差額	17,566	0.0	徴収不能引当金繰入額	211,832	0.3
事業収入	557,597	0.7			
医療収入	48,778,611	63.9			
雑収入	897,991	1.2			
帰属収入合計	76,324,009	100.0	消費支出の部合計	75,581,434	100.0
基本金組入額合計	△9,285,729	△12.2	当年度支出超過額	△8,543,155	
消費収入の部合計	67,038,280	87.8	前年度繰越消費支出超過額	△59,267,126	
			基本金取崩額	0	
			翌年度繰越消費支出超過額	△67,810,281	

2. 平成18年度資金収支計算書

(表2)

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
(単位：千円 端数未調整)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
学生生徒等納付金収入	17,195,460	14.3	人件費支出	35,155,039	29.2
手数料収入	803,652	0.7	教育研究経費支出	30,953,320	25.7
寄附金収入	1,212,076	1.0	管理経費支出	3,013,037	2.5
補助金収入	6,199,117	5.2	借入金等利息支出	70,439	0.1
資産運用収入	512,798	0.4	借入金等返済支出	676,000	0.6
資産売却収入	411,822	0.3	施設関係支出	9,335,797	7.8
事業収入	557,597	0.5	設備関係支出	3,056,291	2.5
医療収入	48,778,611	40.6	資産運用支出	17,308,703	14.4
雑収入	897,991	0.7	その他の支出	9,018,755	7.5
借入金等収入	0	0.0	資金支出調整勘定	△9,285,844	△7.7
前受金収入	4,331,883	3.6			
その他の収入	34,573,048	28.7			
資金収入調整勘定	△12,821,601	△10.7			
当年度収入合計	102,652,452	85.4	当年度支出合計	99,301,536	82.6
前年度繰越支払資金	17,605,158	14.6	次年度繰越支払資金	20,956,074	17.4
収入の部合計	120,257,611	100.0	支出の部合計	120,257,611	100.0

3. 貸借対照表

(表3)

(平成19年3月31日 現在)

(単位：千円 端数未調整)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	122,481,381	123,557,848	△1,076,466	固定負債	21,365,574	21,812,293	△446,719
(有形固定資産)	104,116,065	97,381,105	6,734,959	長期借入金	3,512,000	4,390,000	△878,000
土地	25,744,457	25,672,964	71,493	退職給与引当金	17,853,574	17,422,293	431,281
建物	59,314,261	51,417,823	7,896,438	流動負債	14,610,566	12,569,145	2,041,421
構築物	3,111,515	3,068,007	43,508	返済期間が1年以内の長期借入金	878,000	676,000	202,000
教育研究用機器備品	7,201,557	5,654,506	1,547,051	手形債務	100,000	600,000	△500,000
その他の機器備品	156,541	99,704	56,837	未払金	8,246,100	6,417,727	1,828,373
図書	8,570,340	8,427,409	142,931	前受金	4,331,883	3,872,379	459,504
車輜	17,394	16,410	984	預り金	938,033	889,270	48,762
建設仮勘定	0	3,024,281	△3,024,281	修学旅行費預り金	68,224	64,013	4,211
(その他の固定資産)	18,365,317	26,176,743	△7,811,426	仮受金	48,327	49,755	△1,428
借地権	13,119	13,119	0	負債の部合計	35,976,140	34,381,439	1,594,702
電話加入権	18,626	18,376	250				
施設利用権	13,690	19,396	△5,706				
温泉利用権	4,000	4,000	0				
建物等質借差入保証金	127,547	71,768	55,779				
長期貸付金	648	834	△186				
奨学貸付金	250,575	252,190	△1,615				
有価証券	1,037,022	978,271	58,751				
学部増設等引当特定資産	1,767,147	5,993,685	△4,226,539				
学術研究引当特定資産	1,000,000	1,000,000	0				
退職給与引当特定資産	7,454,004	7,154,004	300,000				
減価償却引当特定資産	1,510,000	5,610,000	△4,100,000				
2号基本金引当特定資産	0	0	0				
3号基本金引当特定資産	3,850,000	3,750,000	100,000				
その他の引当特定資産	1,298,940	1,291,100	7,840				
長期預け金	20,000	20,000	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
流動資産	31,321,512	27,907,770	3,413,742				
現金預金	20,956,074	17,605,158	3,350,916				
有価証券	60,000	60,000	0				
未収入金	9,238,741	9,119,618	119,124				
貯蔵品	357,524	352,376	5,148				
前払金	945,842	940,165	5,677				
仮払金	31,354	39,273	△7,920				
徴収不能引当金	△268,022	△208,820	△59,202				
資産の部合計	153,802,894	151,465,618	2,337,276				
				科目	本年度末	前年度末	増減
				翌年度繰越消費支出超過額	△67,810,281	△59,267,126	△8,543,155
				消費収支差額の部合計	△67,810,281	△59,267,126	△8,543,155
				科目	本年度末	前年度末	増減
				負債の部、基本金の部			
				及び消費収支差額の部合計	153,802,894	151,465,618	2,337,276

注記

- 減価償却額の累計額の合計額 76,466,837千円
- 重要な会計方針の変更等
18年度における変更はない。
- 担保に供されている資産の種類及び額
土地 3,177,479千円
建物 13,729,885千円
計 16,907,364千円
- 徴収不能引当金の合計額 268,022千円
- 翌会計年度以降の会計年度において基本金の組入を行うこととなる金額 4,330,462千円
- 退職給与引当金の額の算定方式は、次のとおりである。
教員・職員の退職金支出に備えるため退職金の期末支給額の100%を基にして私学退職金団体に対する掛け金と交付金等を調整加減した金額を計上している。
- 有価証券の時価情報
保有額 9,846,058千円 時価 9,884,278千円 評価益 38,220千円
- 偶発事象、リース資産に関する注記は省略します。

4. 平成19年度消費収支予算書

(表4)

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	平成19年度 予算額	平成18年度 予算額	増減	科目	平成19年度 予算額	平成18年度 予算額	増減
学生生徒等納付金	17,538,570	17,357,301	181,269	人件費	37,082,590	36,302,734	779,856
手数料	691,795	748,750	△56,955	教育研究経費	38,307,653	35,274,924	3,032,729
寄附金	1,383,870	1,361,570	22,300	管理経費	3,109,015	2,866,445	242,570
補助金	4,913,220	6,067,778	△1,154,558	借入金等利息	65,670	75,820	△10,150
資産運用収入	534,725	466,255	68,470	資産処分差額	43,498	222,222	△178,724
資産売却差額	326	42	284	徴収不能引当金繰入額	194,620	111,330	83,290
事業収入	545,960	450,140	95,820	予備費	101,000	101,000	0
医療収入	52,465,690	48,314,530	4,151,160				
雑収入	385,059	312,081	72,978				
帰属収入合計	78,459,215	75,078,447	3,380,768				
基本金組入額合計	△9,061,341	△10,816,292	1,754,951				
消費収入の部合計	69,397,874	64,262,155	5,135,719	消費支出の部合計	78,904,046	74,954,475	3,949,571
				当年度消費支出超過額	△9,506,172	△10,692,320	1,186,148

5. 平成19年度資金収支予算書

(表5)

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	平成19年度 予算額	平成18年度 予算額	増減	科目	平成19年度 予算額	平成18年度 予算額	増減
学生生徒等納付金収入	17,538,570	17,357,301	181,269	人件費支出	36,521,965	35,790,589	731,376
手数料収入	691,795	748,750	△56,955	教育研究経費支出	32,756,185	30,069,248	2,686,937
寄附金収入	1,327,200	1,308,400	18,800	管理経費支出	2,774,727	2,534,435	240,292
補助金収入	4,913,220	6,067,778	△1,154,558	借入金等利息支出	65,670	75,820	△10,150
資産運用収入	534,725	466,255	68,470	借入金等返済支出	878,000	761,000	117,000
資産売却収入	360,000	140,000	220,000	施設関係支出	3,930,401	10,071,298	△6,140,897
事業収入	545,960	450,140	95,820	設備関係支出	2,848,660	3,169,769	△321,109
医療収入	52,465,690	48,314,530	4,151,160	資産運用支出	16,555,065	15,832,736	1,031,329
雑収入	385,059	312,081	72,978	その他の支出	10,359,680	9,128,921	1,230,759
借入金等収入	0	0	0	予備費	101,000	101,000	0
前受金収入	4,073,100	4,223,700	△150,600				
その他の収入	26,784,013	31,993,646	△5,209,634				
資金収入調整勘定	△13,063,137	△11,653,276	△1,409,861	資金支出調整勘定	△7,333,366	△9,605,521	2,272,155
当年度収入合計	96,556,195	99,729,305	△3,173,111	当年度支出合計	99,457,987	97,620,295	1,837,692
前年度繰越支払資金	19,957,519	16,823,494	3,134,025	次年度繰越支払資金	17,055,726	18,932,504	△1,876,778
収入の部合計	116,513,713	116,552,799	△39,086	支出の部合計	116,513,713	116,552,799	△39,086